

第1号議案

令和4年度

事業実施概要報告書

社会福祉法人松寿会

目 次

	頁
I. 本部	1
1. 令和4年度まとめ	1
2. 年間行事・諸会議開催状況	2
II. 施設の概要	
1. 建物の規模および構造並びに設備の概要	3
2. 職員の状況	3
III. 特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)松寿苑	
1. 令和4年度まとめ	4
2. 施設入所者の状況	
(1)市町村別利用状況	5
(2)要介護度別入苑者数	5
(3)年齢構成	6
(4)在苑期間	6
(5)入退所者の状況	
(イ)入所前の生活場所 (ロ)退所理由	7
(6)利用負担限度額の状況	8
(7)障がい老人の日常生活自立度状況	9
(8)認知症老人の日常生活自立度状況	10
(9)入苑者の入院状況	
(イ)疾病別入院者数 (ロ)疾病別入院日数	11
(10)年間利用状況	12
3. 年間行事、余暇活動実施状況	13
4. 給食の実施状況	
(1)入苑者の食事状況	14
(2)検食実施状況	14
(3)栄養摂取状況	14
5. 行事食等献立一覧	15
6. リハビリテーション実施状況	16
7. ボランティア活動状況	17
8. 研修受け入れ状況	17
9. 職員研修状況	18,19
IV. 指定短期入所生活介護事業所ショートステイ松寿苑	
1. 令和4年度まとめ	20
2. ショートステイ利用状況	
(1)年度別利用状況	20
(2)令和4年度月別利用状況	20
(3)令和4年度市町村別利用者状況	20
V. 松寿苑デイサービスあ・うん	
1. 令和4年度まとめ	21
2. 令和4年度月別利用状況	21
VI. 居宅介護支援事業所松寿苑	
1. 令和4年度まとめ	22
2. 令和4年度月別ケアプラン作成件数	22
VII. 事故およびヒヤリハット発生状況	
○ 特養	23～26
○ 短期入所・デイサービス	27
VIII. 身体拘束状況	28
IX. 苦情受付状況	29
付表 入苑待機状況	30

I. 本部

1. 令和4年度まとめ

令和4年度は安定的経営を目指し、理念に沿った事業展開を行うことを目標に掲げ取り組んできた。人事制度改革の一つである評価制度はトライアルではあったが、フィードバック面談では仕事の現状を聞きながら課題、理由等考えさせ、上司から問題点等伝え次に繋げてもらうことができた。まだまだ課題はあるが職員の意欲あふれる施設にしたい。さて、年末年始にかけ、当苑も新型コロナウイルスでのクラスターが発生した。そんな中、ご利用者を守るという強い精神力を持ち、パニックを起こさず、冷静な行動と、孤独感に耐えながら職務に当たり徐々に収束を迎えることが出来た。苦難を制した価値のある経験はこれからの色々な感染対策にも必ずや生かしていける貴重な経験であったと考える。さて、令和4年度の各事業についても、常に新型コロナウイルス感染症と向き合いながら取り組んできた。特養（多床室・ユニット）では、稼働率95%と高い数字を残すことが出来たが、ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援については低迷し、法人全体で計画を達成することが出来なかった。一昨年と比べると介護保険収入は1,800万円増であったが、費用面では、物価高騰により経営が圧迫され、特に電気代が500万円増と大きく収支に影響がでた。今後、当施設も移転して11年が経ち建物関係の修繕、機器の取替等費用がかかってくる時期となっており、計画的な修繕、取替をしていかなければならない。人財確保が難しい現状の中、留学生3名については、日本語科の学習が終わり本年度より2年間介護福祉を学び、その後当苑の人財として期待できる3名である。また、新たに留学生2名、新高卒1名も加わり職員の人財育成を重要視し、全職員が成長できる環境作りを構築していく。

2. 年間行事・諸会議開催状況		
実施年月日	行事・会議	内容事項
R. 4. 5. 25	監事による会計監査	年度事業執行状況及び会計監査
R. 4. 6. 3	第164回理事・監事 合同役員会	令和3年度事業報告及び収支決算認定 職員給与規程細則の一部改正 育児・介護休業等に関する規則の一部改正 職員就業規則の一部改正
R. 4. 6. 20	定時評議員会	令和3年度事業報告及び収支決算認定
R. 4.10.17	理事・監事合同役員会 (招集省略)	指定介護老人福祉施設運営規程の一部改正 短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正 ユニット型指定介護老人福祉施設運営規程の一部改正 ユニット型指短期定介護老人福祉施設運営規程の一部改正
R. 5. 1. 5	理事・監事合同役員会 (招集省略)	経理規程の一部改正
R. 5. 3. 24	第165回理事・監事 合同役員会	職員給与規程の一部改正 令和4年度第1次補正予算(案) 令和5年度事業計画(案) 令和5年度予算(案) 苦情解決第三者委員の選出 定時評議員の招集について 臨時職員就業規則の一部改正

II. 施設の概要

1. 建物の規模および構造並びに施設・設備の概要

敷地面積	9,865.82㎡		
建物の面積	建築面積	2,698.28㎡	
	延床面積	4,498.59㎡	
	(本体	4,385.57㎡)	
建物の構造	RC造、2階建		
施設の概要	特別養護老人ホーム（ユニット型個室）	50床	
	〃（多床室）	30床	
	短期入所生活介護事業所（ユニット型個室）	10床	
	〃（多床室）	空床型	
	デイサービス	30名	
	〃（介護予防・日常生活支援総合事業）	5名	
	居宅介護支援事業所		
設備の概要	空調冷暖房、エレベーター、全館放送設備		
	ナースコール、特浴（1）、個浴（3）、中間浴（5）		
	各ユニット・多床室・デイサービスに調理設備		
	リハビリ器具（トレーニングマシン（4）・レッドコード（6）平行棒）		
防災設備	スプリンクラー、消火用散水栓、自動火災報知機		
	非常火災通報装置、誘導灯、非常電源設備、避難用すべり台		

2. 職員の状況（R5.3.31現在）

	特養		短期	デイ	居宅介護 支援	合計	備 考
	多床室	ユニット	ユニット	サービス			
施設長（管理者）	1名			1名	1名	3名	
生活相談員	3名			1名	—	4名	社会福祉士4名
看護職員	5名		1名	3名	—	9名	正看護師5名パート4名
介護職員	18名	34名	8名	8名	—	68名	介護福祉士48名 パート26名 派遣2
介護支援専門員	4名			—	2名	6名	4名は兼務 パート1名
機能訓練指導員	1名			1名	—	2名	PT2名
管理栄養士	1名			—	—	1名	
運転手	—			3名	—	3名	パート3名
事務員等	—		4名			4名	パート1名
実 員	91名		正職員57名 嘱託・臨時等（常勤）5名				パート29名

※ 介護支援専門員…特養・短期は、生活相談員・介護職員と兼務
居宅介護支援は管理者と兼務

※ 生活指導員………デイサービスは、管理者と兼務

Ⅲ. 特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)松寿苑

(多床室30床、ユニット型50床)

1. 令和4年度まとめ

「サービスの質の確保、入居者本位のサービス提供」については、入居者一人一人が主体的に日常生活を営むことができるよう、入居者、家族の意向を反映した介護サービス計画書を作成し実施したが、本年度も新型コロナウイルス対策で家族等の面会を制限しながらの運営となった。その為、職員は入居者一人一人の状態を把握し、丁寧な対応に努めた。

看取り介護については、18名の方が家族や職員の見送りの中、人生最後の瞬間を慣れ親しんだ当苑で迎えられた。より良い支援につなげて行くため、また職員の意識向上のために看取り後の振り返りカンファレンスを継続して行った。

「安全確保とリスク対策」については、リスクマネジメント委員会を中心としヒヤリハット報告書を活用し、対策を検討してきた。本年度は、苑内研修を実施し、事故対策について検討した。

「人材育成」本年度の苑内研修は、外部講師を招いて行う研修は苑内の感染を受け開催出来なかったが、オンライン開催の手法を取り入れたことで、集合せずまた自宅に居ながらでも研修に参加できる体制を整えた。また各委員会が研修を主催することで、主体的な活動に務めた。

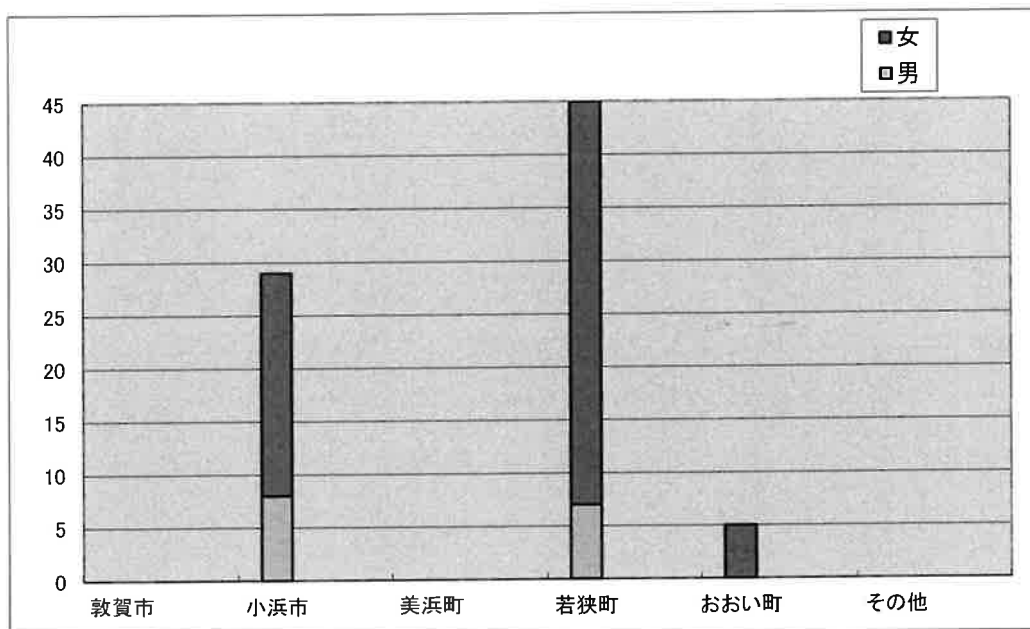
令和4年度の稼働率は、昨年度の88.3%から95.0%と増加した。内訳として、多床室は95.2%から94.4%と若干低下したが、ユニットは84.2%から94.4%へと増加した。本年度は、9月頃迄98%前後と高い稼働率で推移していたが、10月にユニットで新型コロナウイルスに利用者2名、職員2名罹患した。その後、罹患されなかった利用者も体調を崩される方が多く、稼働率が大きく低下した。また12月には別のユニットでも感染が広がり、利用者8名、職員7名が罹患した。ショートステイのユニットでもあり、関係者に大きな影響が出た。12月末には、多床室でも罹患し利用者24名、職員12名が罹患した。多床室においては終息迄に約1ヵ月を要し、職員体制も厳しい中ではあったが乗り切ることが出来た。その後、落ち着き次第ご利用者の受入を開始し、90%程度まで落ち込んだ稼働率も94%程度まで回復することが出来た。

今年度の入院者の内訳を見ると、呼吸器系での入院者数が前年度の469日から271日に大きく減少した。昨年度から歯科医師、歯科衛生士の指導のもと職員一丸で口腔ケアに取り組んできたことが大きな成果につながったと考える。

引き続き、ご利用者が安心して生活して頂き、職員が働きやすく働きがいのある環境作りに努めていきたい。

2. 施設入苑者の状況
 (1) 市町村別利用状況

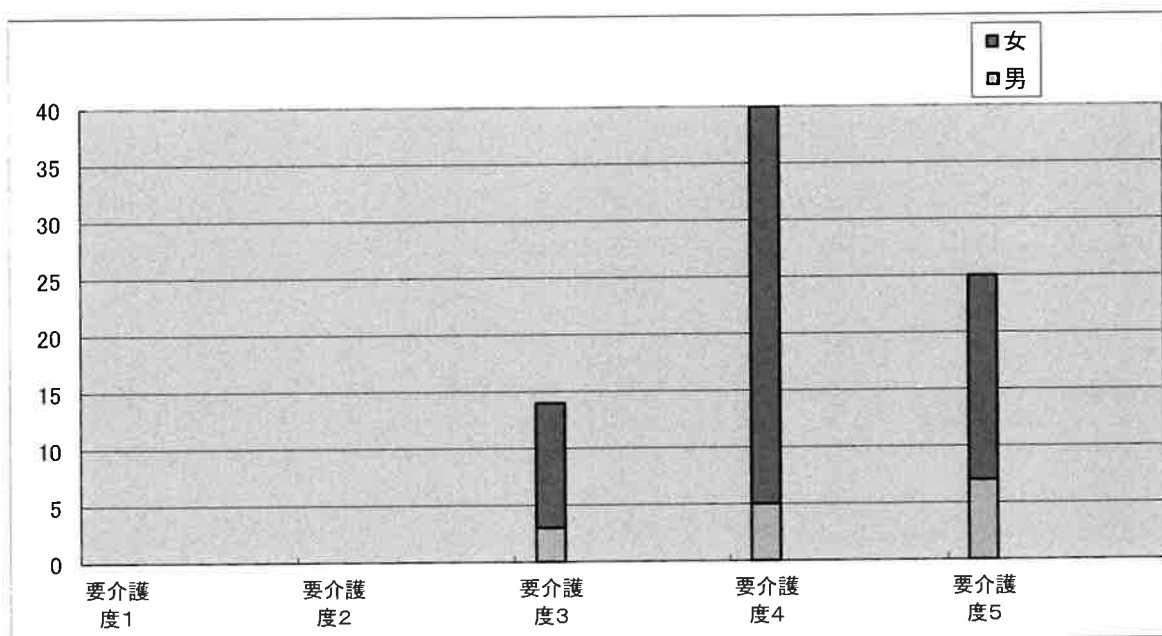
(令和5年3月31日現在)



	敦賀市	小浜市	美浜町	若狭町	おおい町	その他	合計
男	0	8	0	7	0	0	15
女	0	21	0	38	5	0	64
計	0	29	0	45	5	0	79

(2) 要介護度別入苑者数
 平均介護度 4.14

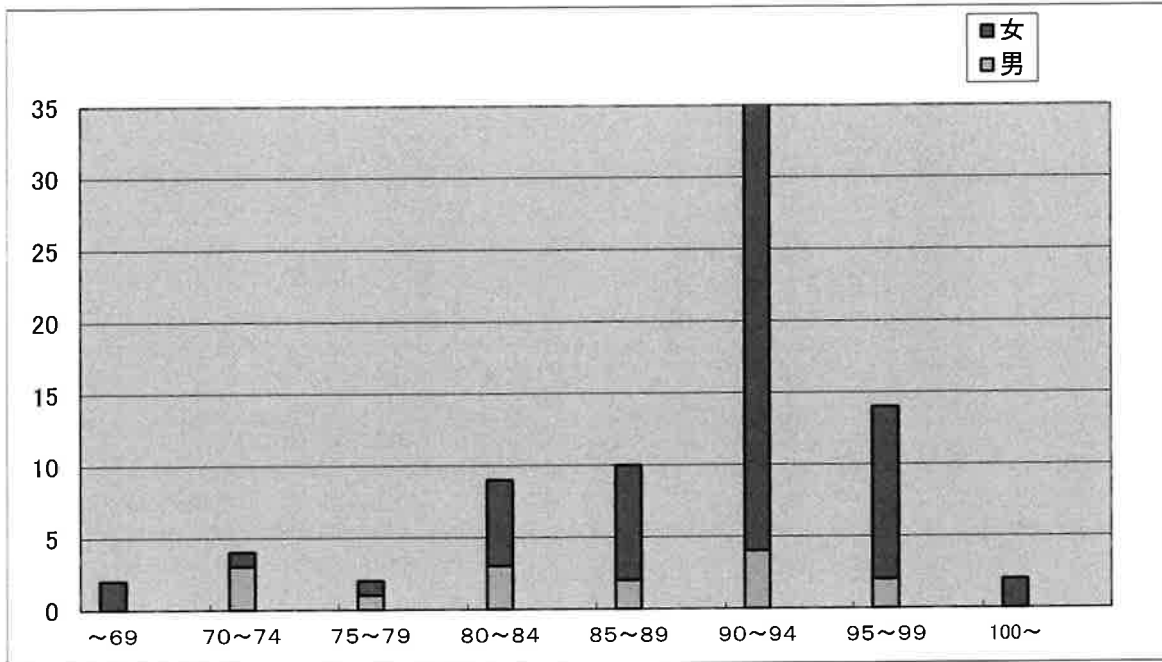
(令和5年3月31日現在)



	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
男	0	0	3	5	7	15
女	0	0	11	35	18	64
計	0	0	14	40	25	79

(3) 年齢構成

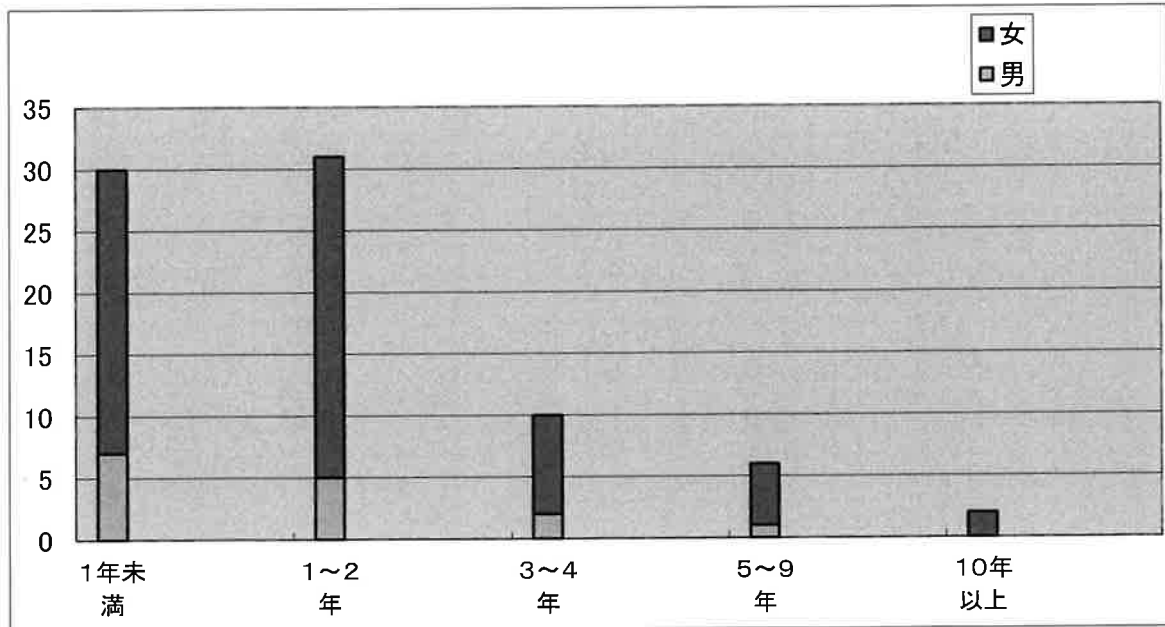
平均年齢 男 85.7歳 女 90.9歳 総数 89.9歳 (令和5年3月31日現在)



	~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計
男	0	3	1	3	2	4	2	0	15
女	2	1	1	6	8	32	12	2	64
計	2	4	2	9	10	36	14	2	79

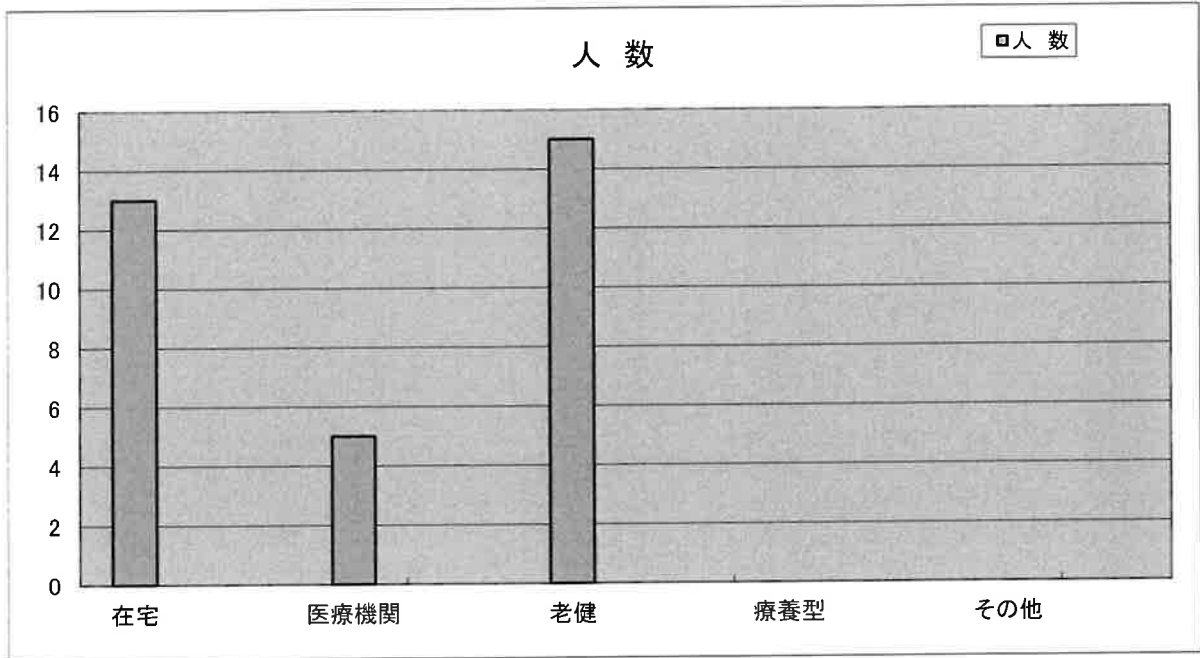
(4) 在苑期間

平均在苑期間 男 1年7か月 女 2年1か月 総数 2年0か月 (令和5年3月31日現在)



	1年未満	1~2年	3~4年	5~9年	10年以上	合計
男	7	5	2	1	0	15
女	23	26	8	5	2	64
計	30	31	10	6	2	79

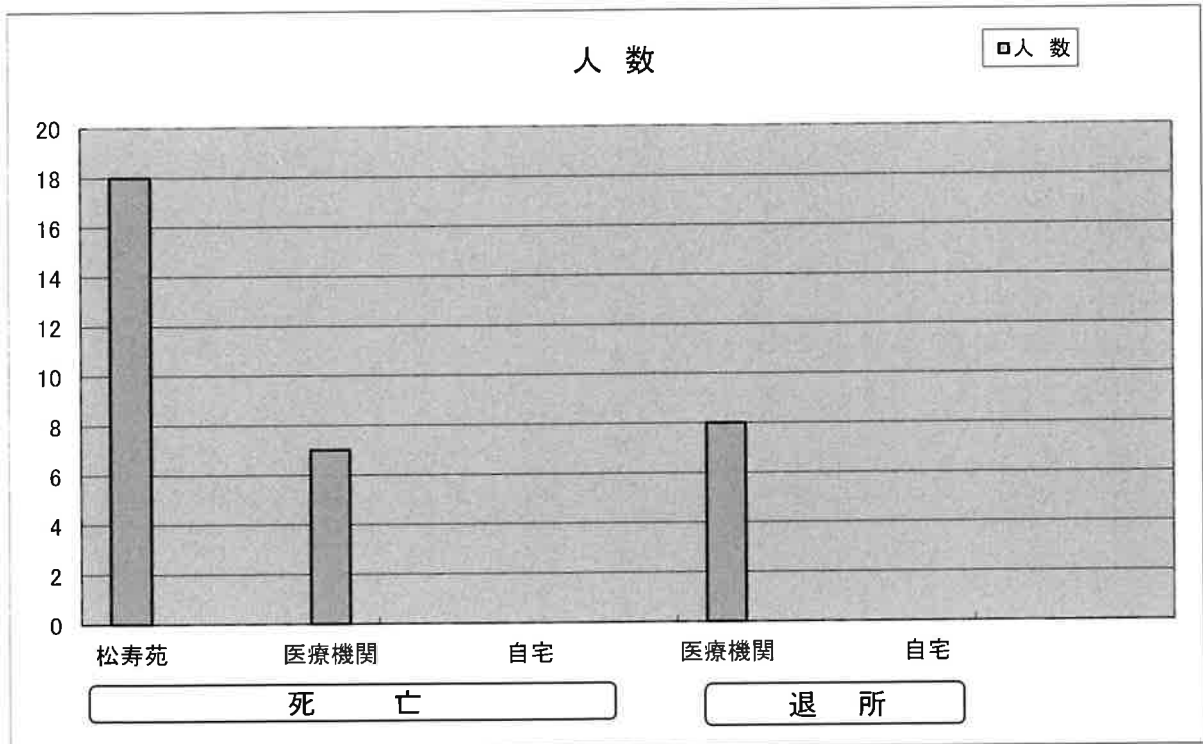
(5)入退所者の状況(令和4年度)
 (イ)入所前の生活場所



		入所前の生活場所				
		在宅	医療機関	老健	療養型	その他
人数		13	5	15	0	0

(有料老人ホーム)

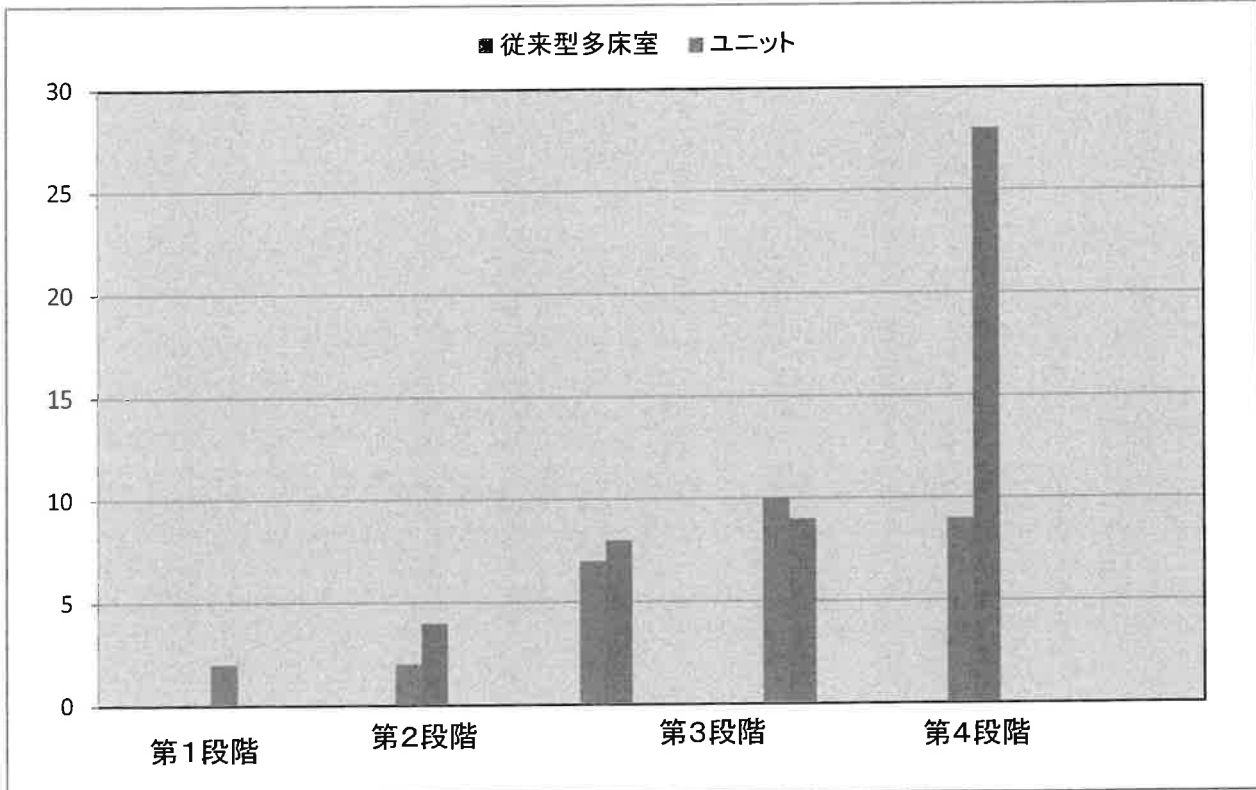
(ロ)退所の理由



		死亡			退所	
		松寿苑	医療機関	自宅	医療機関	自宅
人数		18	7	0	8	0

(6) 利用料負担限度額の状況

(令和5年3月31日現在)



	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階
従来型多床室	2	2	7	10	9
ユニット		4	8	9	28

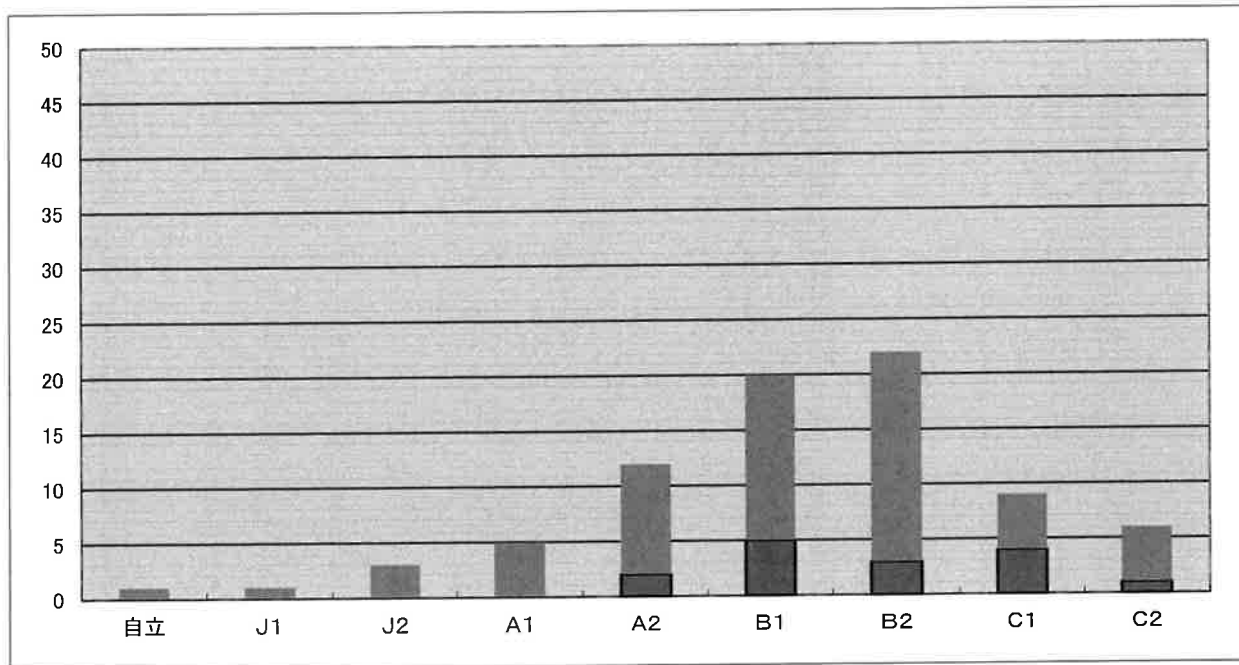
各段階の自己負担額は、以下のように設定されております。()内は補足給付額

段 階	食費(円)	居住費(円)		適 用 条 件	
		ユニット	多床室		
第1段階	300(1,145)	820(1,186)	370(485)	生活保護受給者 老齢福祉年金受給者	市町村民税 非課税世帯
第2段階	390(1,055)	820(1,186)	370(485)	収入額80万円以下	
第3段階①	650(795)	1,310(696)	370(485)	収入額80万円～120万円以下	
第3段階②	1,360(85)	1,310(696)	370(485)	収入額120万円～266万円以下	
第4段階	1,500	2,070	940	上記以外の方 (負担額は各施設で設定)	市町村民税 課税世帯

自己負担額との差額は、補足給付として保険者(市町)から給付されます。
(給付限度額は、食費1,500円、居住費ユニット2,070円、従来型多床室940円となっています。)

(7)障がい高齢者の日常生活自立度(令和4年度)

(令和5年3月31日現在)

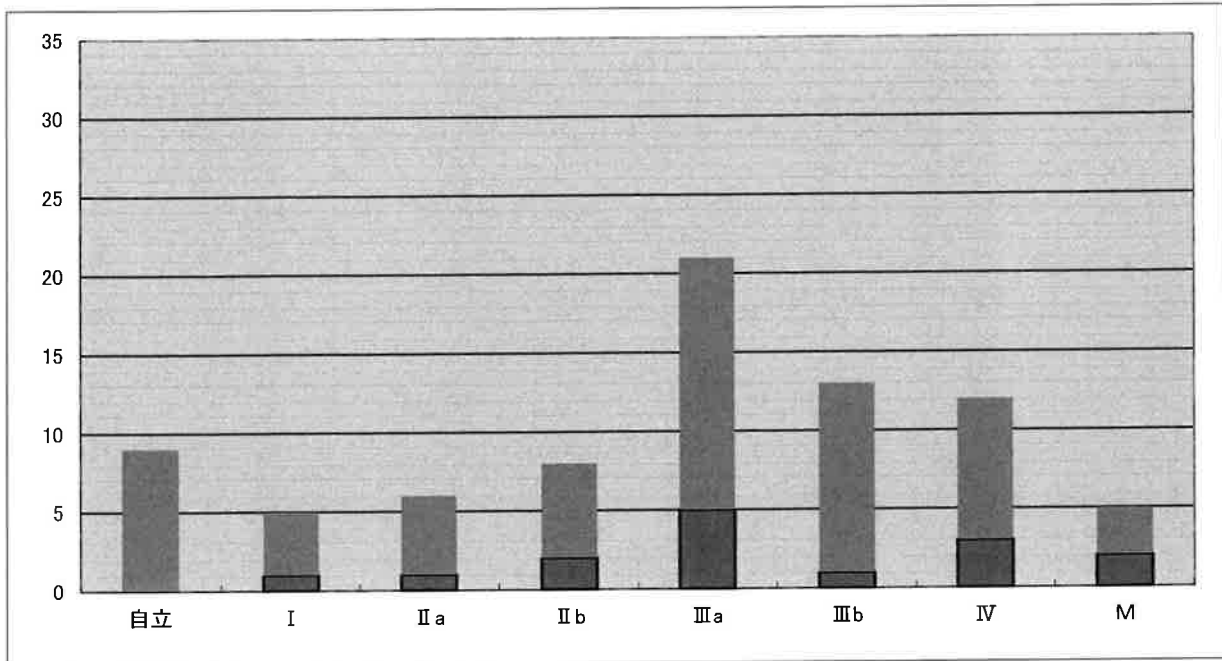


	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
男	0	0	0	0	2	5	3	4	1
女	1	1	3	5	10	15	19	5	5
計	1	1	3	5	12	20	22	9	6

	ランク	生活の場の制限	身体状態の障害等	介護の状況・行動の例
生活自立	J1	独力で外へ出られる	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、独力で外出する	交通機関等を利用して外出する
	J2			隣近所へなら外出する
準寝たきり	A1	家の中で生活	食事・排泄・着替えに関しては概ね自分で行い、近所に外出する時は介護者の援助を必要とする	介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する
	A2			外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	B1	室内での移動は車椅子での生活	座位を保ち、一日の大半をベッド上で過ごす。食事・排泄・着替えのいずれかはベッドから離れる	介助なしで車椅子に移乗する
	B2			介助のもと車椅子に移乗する
	C1	ベッド上での生活	一日中ベッドの上で過ごし、食事・排泄・着替えのいずれにおいても介護者の援助が必要	自力で寝返りできる
	C2			自力では寝返りできない

(8) 認知症高齢者の日常生活自立度(令和4年度)

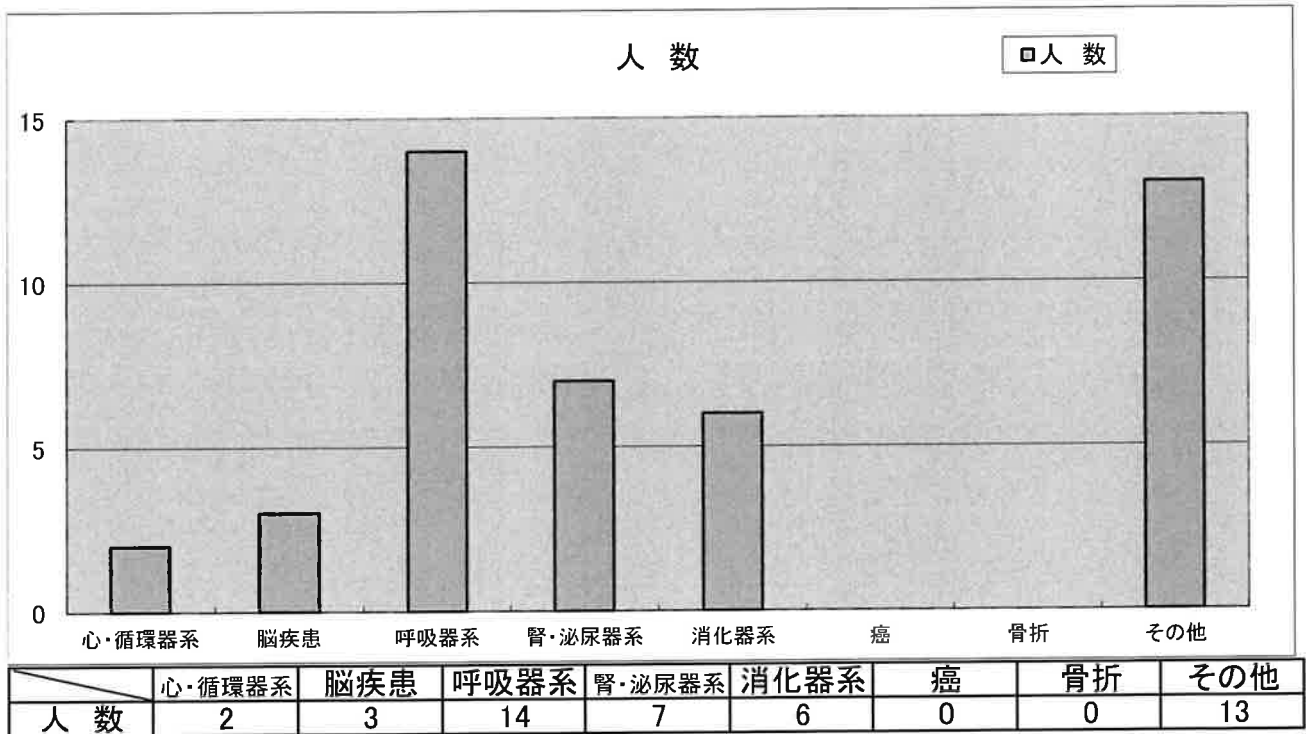
(令和5年3月31日現在)



	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
男	0	1	1	2	5	1	3	2
女	9	4	5	6	16	12	9	3
計	9	5	6	8	21	13	12	5

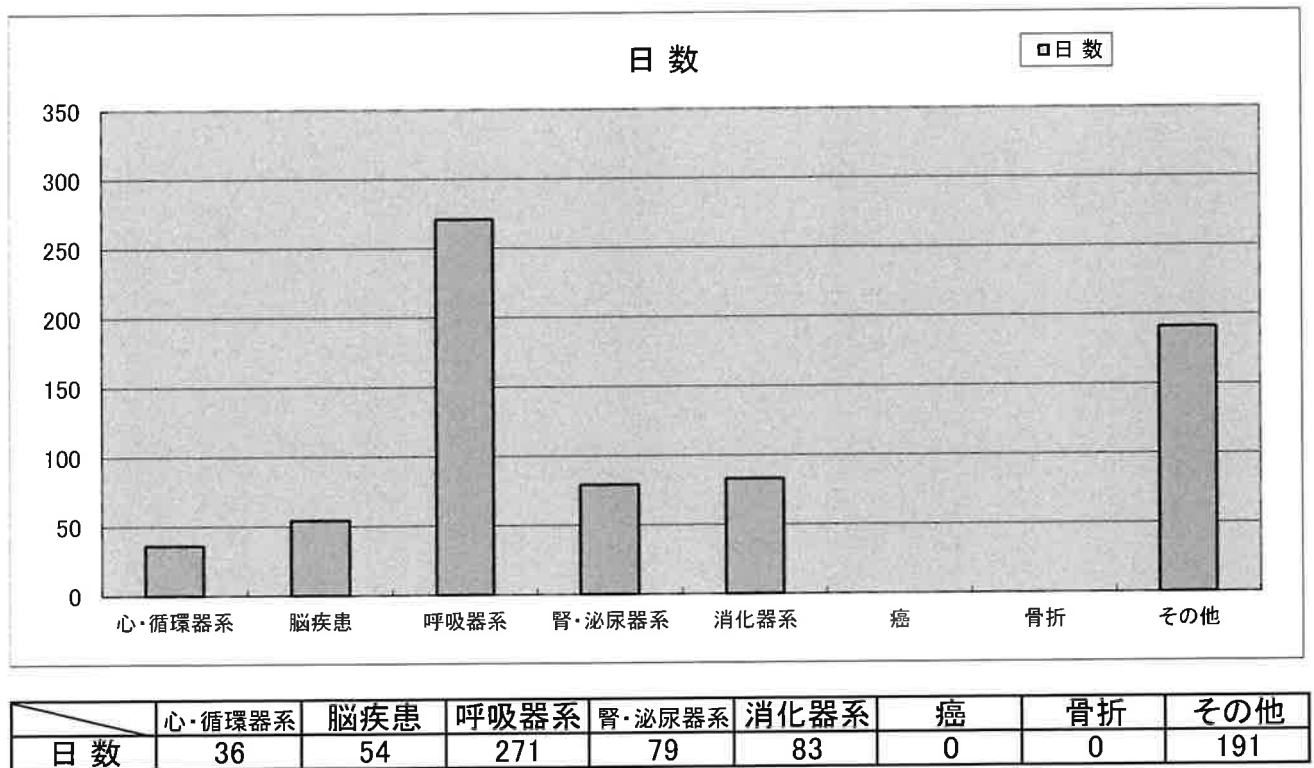
ランク	判断基準		見られる症状・行動の例
I	ほぼ自立でひとり暮らしが可能 (日常生活に必要な意思疎通はできる)		
II	II a	IADL低下が見られる	家庭外で症状が見られる 家庭内でも症状が見られる
	II b	誰かの注意が必要	
III	III a	ADL低下が見られる。ときどき介護が必要	着替え・食事・排泄が上手にできない、時間がかかる。 やたらにものを口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
	III b		
IV	常に介護が必要		IIIより頻回 常に目を離すことができない
M	日常生活に必要な意思疎通ができない又はまれにしかできない		せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

(9)入苑者の入院状況(令和4年度)
 (イ)疾病別入院者数(延45名)

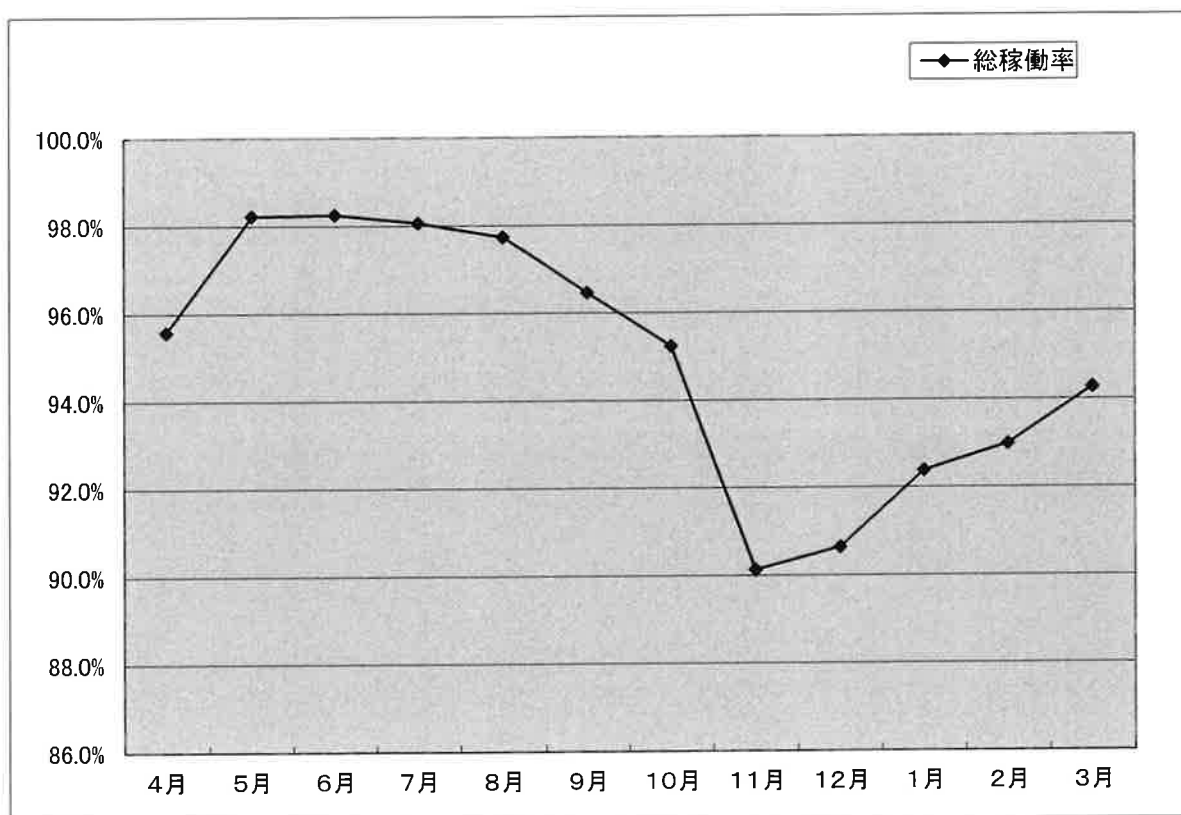


救急車にて搬送… 13回

(ロ)疾病別入院日数(714日)



(10)年間利用状況(令和4年度)



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
多床室	定員総日数	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	840	930	10,950
	入院日数	28	31	6	48	18	28	6	2	17	11	5	0	200
	外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	空床日数	13	4	5	0	6	7	30	22	18	57	58	14	234
	空床総日数	41	35	11	48	24	35	36	24	35	68	63	14	434
	延入所者数	859	895	889	882	906	865	894	876	895	862	777	916	10,516
	短期空床利用	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	6
	実利用者数	859	895	889	882	908	869	894	876	895	862	777	916	10,522
	稼働率	95.4%	96.2%	98.8%	94.8%	97.6%	97%	96.1%	97.3%	96.2%	93%	93%	98%	96.1%
ユニット型	定員総日数	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,400	1,550	18,250
	入院日数	5	1	31	0	18	33	62	150	73	26	58	97	554
	外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	空床日数	60	8	0	0	16	21	20	63	124	110	64	31	517
	空床総日数	65	9	31	0	34	54	82	213	197	136	122	128	1,071
	延入所者数	1,435	1,541	1,469	1,550	1,516	1,446	1,468	1,287	1,353	1,414	1,278	1,422	17,179
	短期空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	28	0	43
	実利用者数	1,435	1,541	1,469	1,550	1,516	1,446	1,468	1,287	1,353	1,429	1,306	1,422	17,222
	稼働率	95.7%	99.4%	97.9%	#####	97.8%	96.4%	94.7%	85.8%	87.3%	92.2%	93.3%	91.7%	94.4%
総稼働率	95.6%	98.2%	98.3%	98.1%	97.7%	96.5%	95.2%	90.1%	90.6%	92.4%	93.0%	94.3%	95.0%	

3. 年間行事、余暇活動実施状況(令和4年度)

○ ユニット

【さくら通り】(特養・短期入所)

月	日	行 事 内 容
4	4	外出(花見)
7	15	外出(ドライブ)
10	20	外出(ドライブ)
12	14	クリスマスミニコンサート
2	3	節分(豆まき)
3	27	外出(花見)

【なの花通り】

月	日	行 事 内 容
4	5	外出(花見)
7	15	外出(ドライブ)
12	14	クリスマスミニコンサート
2	3	節分(豆まき)
3	27	外出(花見)

【すずらん通り】

月	日	行 事 内 容
4	5	外出(花見)
6	23	手づくり昼食(三食どんぶり)
7	7	外出(ドライブ)
10	28	外出(ドライブ)
10	31	外出(ドライブ)
12	14	クリスマスミニコンサート
2	3	節分(豆まき)
3	27	外出(花見)

○ 通所介護

松寿苑デイサービスあ・うん

月	日	行 事 内 容
4	6~8	お花見ドライブ
5	10~11	ドライブ(河内川ダム)
7	7	七夕会
9	12~17	秋祭り
11	1~5	運動会
12	2	聖ルカ保育園太鼓の発表
	24	クリスマスコンサート
3	30	お花見ドライブ

○ 多床室

【木の实通り】

4	12	外出(花見)
4	11	故郷訪問
7	22	外出(ドライブ)
9	20	手づくり昼食・おやつ
9	26	手づくり昼食・おやつ
10	11	手作りおやつ
10	11	外出(ドライブ)
12	14	クリスマスミニコンサート
2	3	節分(豆まき)
3	27	外出(花見)
随時		DVD鑑賞

共 通

月	日	行 事 内 容
9	30	敬老会
11	26	避難訓練

毎 月	誕生会(各ユニット毎) 手作りおやつ
随 時	レクリエーション (風船バレー、パズル、トランプ 貼り絵、しりとり、将棋等) いきいき活動 (おしぼり・エプロン・洗濯物たたみ 新聞切り・折り等) 外気浴 (苑内外散歩、花見、日光浴等) 音楽 (歌、カラオケ、音楽鑑賞等)

4. 給食の実施状況

(1) 入苑者の食事状況

(令和5年3月31日現在)

① ユニットの食数

	朝食						昼食						夕食					
	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計
普通	25	1	3	0		29	27	1	3	0		31	26	1	3	0		30
刻み	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0
小刻み	6	0	1	1		8	6	0	1	1		8	6	0	1	1		8
極小	5	0	3	4		12	5	0	3	4		12	5	0	3	4		12
ミキサー	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0
ソフト	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0
注入					0	0					0	0					0	0
小計	36	1	7	5	0	49	38	1	7	5	0	51	37	1	7	5	0	50

② 多床室の食数

	朝食						昼食						夕食					
	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計
普通	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0
刻み	8	1	0	1		10	8	1	0	1		10	8	1	0	1		10
小刻み	4	2	0	0		6	4	2	0	0		6	4	2	0	0		6
極小	11	0	0	1		12	11	0	0	1		12	11	0	0	1		12
ミキサー	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0
ソフト	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0
注入					2	2					2	2					2	2
小計	23	3	0	2	2	30	23	3	0	2	2	30	23	3	0	2	2	30

注：軟菜：軟菜食（軟らかく、脂ものが少ない食事） ハーフ：ハーフ食（食事1/2量+補助食品）
 注入：注入食（鼻腔・胃瘻等の流動食）
 普通：副食普通菜、刻み：副食刻み（一口大）菜、小刻み：副食小刻み（0.7cm以下）菜、
 極小：副食極小刻み（0.3cm以下）菜、ミキサー：副食ミキサー（ミキサー食にはソフト食を含む）

(2) 検食実施状況

	時間	検食者
朝食	AM 6:30	前日の宿直者
昼食	AM 11:00	前日の宿直者（土・日曜日、祝祭日は日直者）
夕食	PM 5:00	宿直者

(3) 栄養摂取状況

	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	Ca (mg)	Fe (mg)
基準量	1,350	50	37	650	6
年間平均	1,327	45	32	529	7
		VA (μg)	VD (μg)	食物繊維 (g)	食塩 (g)
基準量		800	5.5	12	8未満
年間平均		645	2.6	12	7.4

5. 行事食等献立一覧(令和4年度)

	行事名	献立内容 行事食・手作りおやつ等(一例)
4月	1日	お花見献立
	おたのしみ おやつ	桜餅・草餅 苺プリン・水羊羹・ 甘酒
	ユ・多の行事	誕生日献立
5月	子供の日	オムライス・鯉のぼり和菓子
	花祭り	コロナの為中止
	おたのしみ おやつ	柏餅・抹茶くずもち・フルーツポンチ あんみつ・牛乳かん・ベビーカステラ
6月	ユ・多の行事	水まんじゅう
	おたのしみ おやつ	わらび餅・抹茶わらび餅 ババロア・コーヒーゼリー 紫陽花ゼリー
7月	半夏生 鯖	散らし寿司・焼き鯖・ソーダゼリー
	七夕	冷そうめん・星型のハンバーグ
	土用の丑の日	鰻の蒲焼き
	おたのしみ おやつ	アイスクリーム・フルーチェ 水まんじゅう・生ドラ焼き
8月	納涼祭	そうめん・フランクフルト カレーバイキング かき氷・チョコバナナ・水まんじゅう
	おたのしみ おやつ	水まんじゅう
9月	敬老会	ちらし寿司・祝いの和菓子 小鯛・茶碗蒸し・すまし汁・二色豆
	秋分の日	おはぎ
	ユ・多の行事	かき氷喫茶
10月	おたのしみ おやつ	フルーチェ・プリン モンブランケーキ 寿ケーキ・アイスクリーム
	創立記念日	赤飯・天ぷら・上用饅頭
	新米企画	各ユニットで調理提供
11月	おたのしみ おやつ	炊飯器ケーキ・おはぎ・リンゴ りんごのコンポート
	焼き芋	焼き芋のふるまい
	十五夜	お月見饅頭
12月	おたのしみ おやつ	あんまん・プリン・お汁粉 白い風船・葛湯・柿の和菓子
	クリスマス	モミの木ハンバーグ・サラダ クリスマスケーキ
	冬至	南瓜の煮物・柚子和菓子
	もちつき大会	中止
	年越し	年越しそば・天ぷら・かき揚げ プリン・フレンチトースト おはぎ サンタの和菓子

	行事名	献立内容 行事食・手作りおやつ等(一例)
1月	お正月	1日おせち 季節の和菓子 2日 雑煮 3日 ちらし寿司
	七草粥	七草粥
	小正月	ぜんざい
	寿司	寿司バイキング
	お楽しみおやつ	お汁粉 甘酒・お煎餅
2月	節分	豆ご飯・鯛の生姜煮 季節の和菓子・節分豆
	バレンタイン	ハートハンバーグ チョコプリン ガトーショコラ
	ふるさとの日	野木小から頂いた輝き米を使用 ソースカツ丼・おろしそば
	おたのしみ おやつ	クッキーチョコ・水羊羹 チョコプリン・ほうじ茶プリン
3月	桃の節句	宝石ちらし・男雛・女雛ねりきり
	ユ・多の行事	切干大根作り
	おたのしみ おやつ	プリンアラモード 水羊羹・おはぎ

※月1回は誕生日メニュー、おやつ(ケーキ、ジュース)を提供

※ユ・多の行事

ユニット・多床室内での誕生会、手作り昼食やおやつ
などのイベント行事の略

※おたのしみおやつ

各ユニット、多床室、デイサービスによって利用者の

ADLや嗜好、おやつへの取り組み方が違うため、その
の利用者に喜んでもらえるおやつをみんなで考えて
もらい月1回提供を行う。

6. リハビリテーション実施状況

(令和5年3月31日現在)

訓練内容	内 訳	リハビリ効果	対象人数	実施回数
ベッド上訓練	寝返り お尻上げ 起き上がり おへそのぞき	起居動作をスムーズにする 腹筋を鍛える	—	週5回
			2	週1回
座位保持訓練	端座位	腹筋、背筋強化	14	週2回
			6	週1回
下肢筋力向上訓練	重り上げ 膝伸ばし 足踏み	前頸骨筋強化 大腿四頭筋強化 骨盤前面筋の強化	14	週2回
			7	週1回
関節可動域訓練	上下肢(他動)	上下肢の筋萎縮や拘縮の予防 両肢位保持	15	週2回
			7	週1回
ストレッチ	上下肢、体幹	筋短縮予防	15	週2回
			7	週1回
立位訓練	立ち上がり 立位保持 立位時重心移動	移乗時のバランス保持 立位時の下肢安定	14	週2回
			6	週1回
歩行訓練	平行棒内歩行 杖歩行 歩行器	日常生活範囲の拡大	10	週2回
			6	週1回
温熱療法	赤外線照射 ホットパック 足浴	鎮痛作用 温熱効果、血流促進	—	週2回
言語療法	嚥下訓練	脳への刺激、嚥下促進効果 唾液分泌、自浄作用	—	週2回
生活リハビリ		日常生活行為にて機能維持	67	毎日

7. ボランティア活動状況

単位:人(令和4年度)

月	シーツ交換	屋内外清掃	演 芸	行事援助	友愛訪問	合 計
4						0
5		26				26
6						0
7						0
8						0
9						0
10						0
11						0
12						0
1						0
2						0
3		3				3
合計	0	29	0	0	0	29

ボランティア団体名

- ・日赤奉仕団(上中地区)5/29 施設周辺の草取り
- ・若狭高校生 3/30~31 車イス、アクリル板清掃、洗浄

8. 研修受け入れ状況

(令和4年度)

年 月 日	内 容	人 数
合 計		

- ・新型コロナウイルス対策に伴い実習の受け入れを中止した。

9. 職員研修状況

(令和4年度)

	研修名	研修日	主催・内容等	参加者数
県	経営者の人材マネジメント研修	6/13	福井県社会福祉法人経営者協議会	1
	リスクマネジメント研修	6/29	福祉リスクマネジメント研究所	1
	デイサービスセンター送迎安全運航研修	8/23	福井県デイサービスセンター協議会	1
	認知症介護実践者研修	8/25~11/18(6日間)	福井県社会福祉協議会	1
	人材マネジメントセミナー	8/30	福井県社会福祉協議会	1
	福祉サービス苦情解決強化セミナー	11/19	福井県社会福祉協議会	1
	福祉サービス苦情解決機能セミナー	11/22	福井県運営適正化委員会	2
	施設長会議	6回/年	県老協主催	1
	就職内定者応援セミナー	3/13	福井県社会福祉協議会	1
	介護支援専門員 更新研修Ⅰ	5/12~8/5(12日間)	福井県介護支援専門員協会	1
	介護支援専門員 更新研修Ⅰ	8/10~11/17(12日間)	福井県介護支援専門員協会	1
	介護支援専門員 更新研修Ⅱ	8/8~10/8(8日間)	福井県介護支援専門員協会	1
	主任介護支援専門員研修	11/14~2/28(14日間)	福井県介護支援専門員協会	1
内				

	研修名	研修日	主催・内容等	参加者数
苑 内	被考課者研修	4/5	日本経営	32
	考課者研修	4/8	日本経営	14
	倫理・理念・基本指針・プライバシー保護	4/27	苑長、副苑長	27
	認知症の方とのコミュニケーション	5/25	百田SR	27
	新人職員研修	6/2	各部門管理者	3
	食中毒事例から学ぶ感染症対策	6/22	高橋管理栄養士	19
	高齢者虐待防止・身体拘束の適正化について	7/29	虐待防止委員会・身体拘束適正化検討委員会	34
	コンプライアンス・個人情報保護・育児休業法改正	8/23	國久社労士	27
	リスクマネジメント研修	9/28	リスクマネジメント会議	24
	考課者研修	10/7	日本経営	16
	感染症対策(演習)	11/27	各部署で随時開催	—
	リスクマネジメント・高齢者虐待防止	1/25	リスクマネジメント委員会(資料配布)	79
	感染症対策	10/27	福井大学:酒巻先生、敬仁会:佐飛先生(資料配布)	77
	高齢者虐待防止	2/22	虐待防止委員会(小下)	23
	褥瘡とは。褥瘡予防について	3/22	小浜病院皮膚排泄ケア認定看護師の場先	18

IV. 指定短期入所生活介護事業所ショートステイ松寿苑

1. 令和4年度まとめ

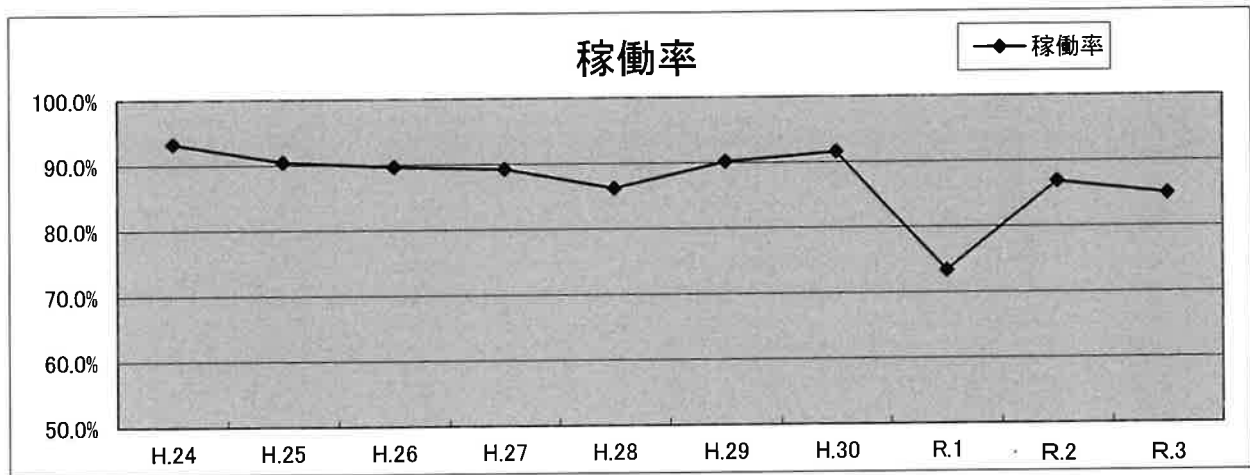
今年度の稼働率は目標90%に対して78.9%であった。令和4年12月12日～令和5年1月15日の期間、苑内で新型コロナウイルス感染症が蔓延にしたことにより、保健所の指示にてショートステイの新たな受け入れを中止した。再開以降は積極的に受け入れしたが、中止の期間が長期に及んだため稼働率は目標より大幅に下回った。

サービスの質については、業務効率化の取り組みは引き続き、職員が少ない中でも利用者への個別対応を行えるように努めた。

また、長期入所の空きベッドの活用も積極的に行い、特養全体の稼働率の安定に努めた。

2. ショートステイ利用状況

(1) 年度別利用状況



	H. 25	H. 26	H. 27	H. 28	H. 29	H. 30	R. 1	R. 2	R. 3	R. 4
件数	583	697	699	733	718	711	591	536	519	440
日数	3,468	3,314	3,268	3,165	3,331	3,359	2,686	3,173	3,266	2,891
内介護予防	50	77	194	107	131	54	8	8	0	38
内空床利用	165	39	0	0	38	15	0	3	162	49
実短期日数	3,303	3,275	3,268	3,165	3,293	3,344	2,686	3,170	3,104	2,842
稼働率	90.5%	89.7%	89.3%	86.2%	90.2%	91.6%	73.4%	86.9%	85.0%	78.9%

(2) 令和4年度月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	35	38	40	44	43	38	39	37	11	28	44	43	440
日数	241	243	263	270	261	244	264	240	194	190	231	250	2,891
内介護予防	0	0	0	0	0	2	6	6	6	6	6	6	38
内空床利用	0	0	0	0	2	4	0	0	0	15	28	0	49

(3) 令和4年度市町村別利用者状況

	小浜市	若狭町	おおい町	その他	合計
件数	191	74	65	0	330
日数	1,102	1,368	421	0	2,891

V. 松寿苑デイサービスあ・うん

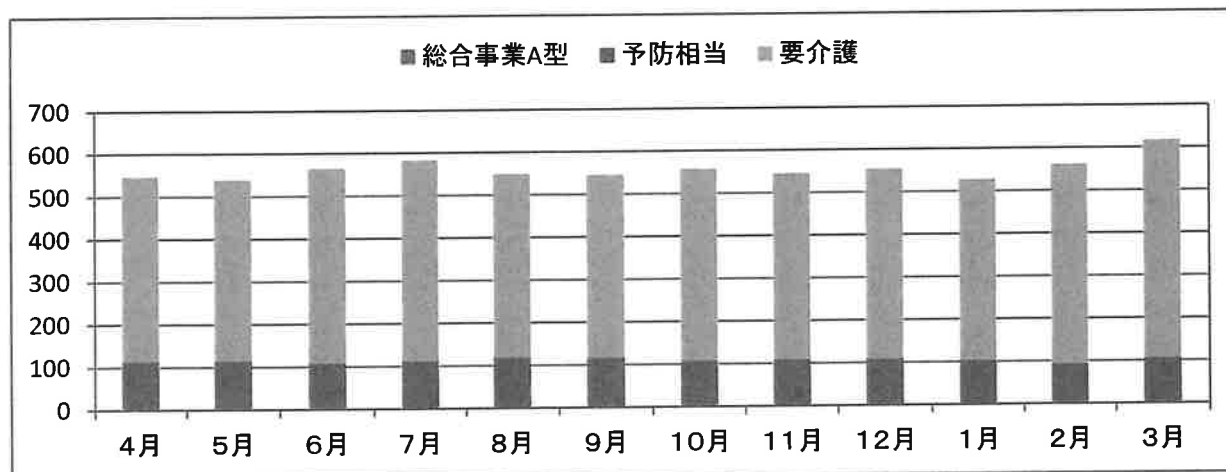
1. 令和4年度まとめ

令和4年度の利用登録者数は、3月31日時点で介護予防の利用者18名、通所介護の利用者59名であり、令和3年度の15名、63名と比べると1名減少している。原因としては、新聞などでも報道されている通り、全国的に新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用控えがあり、近くのデイサービス事業所においても利用者が減少している。当デイサービスにおいても8月から1月は新規利用の依頼が少なかった。また、同時期に利用者や家族に感染者が増加したことも利用者数の減少に影響した。職員やその家族の感染により、職員数が少ない時期もあったが、利用者の在宅生活を守る事を目標に職員の勤務調整を行い、サービスを停止せずに営業できた。クラスターにならなかったのは、マスクの着用やアルコール消毒、利用者や職員の体調管理をはじめ、ありとあらゆる感染予防対策を徹底して行った成果と言える。2月以降は徐々に新規利用が回復し、利用者数も増加傾向にある。5月8日からは新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行されるので、利用控えの解消に期待したい。

新規利用者開拓については、広報誌での情報発信、居宅介護支援事業所への空き情報の配布やホームページへの掲載などを継続して行った。また、新たな取り組みとしてInstagramでの情報発信も始めた。新規利用申込時には迅速に対応し、体調などをしっかり確認、スタッフ間で共有することでスムーズに利用開始できるよう行動した。

既存利用者には、身体状況の変化や家族の要望等を正確に把握し、個別通所介護計画書や機能訓練計画書に反映、実践することで安心して継続した利用ができるデイサービスとして活動した。居宅ケアマネジャーにも必要な情報を報告することで適宜連携し、利用者の状況や変化を把握してもらえるよう心掛けた。サービス内容については、軽度から中重度の幅広い利用者に満足して頂けるよう、難しいレクリエーションや体操、マシン、レドコードを使ったりハビリ、待ち時間にパズルや脳トレプリント等お好みの手作業をして頂き、満足感を得られるようなサービス提供を行った。要介護者の半日利用はご希望に合わせて柔軟に対応し、1日につき1、2名のご利用があった。その後、1日利用に移行される例もみられた。用事などでお休みされた方には別日の振替え利用をお勧めし、1回でもサービスを利用頂ける様に努めた。

2. 令和4年度月別利用状況



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合事業A型	113	114	108	111	118	116	107	108	108	103	93	106	1,305
予防相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護	434	425	456	472	431	429	450	437	446	425	469	511	5,385
合計	547	539	564	583	549	545	557	545	554	528	562	617	6,690
定員数	910	910	910	910	945	910	910	910	910	840	840	945	10,850
稼働率	60.1%	59.2%	62.0%	64.1%	58.1%	59.9%	61.2%	59.9%	60.9%	62.9%	66.9%	65.3%	61.7%

※介護予防・日常生活支援総合事業総合A型…サービス提供時間 9:00~12:30

※加算状況

利用者数	個別機能加算 I (1)	個別機能加算 I (2)	入浴介助	認知症加算
5,385	3,910	748	4,727	1,434
加算率	72.6%	13.9%	87.8%	26.6%

※ 認知症加算は、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の方が対象

VI. 居宅介護支援事業所松寿苑

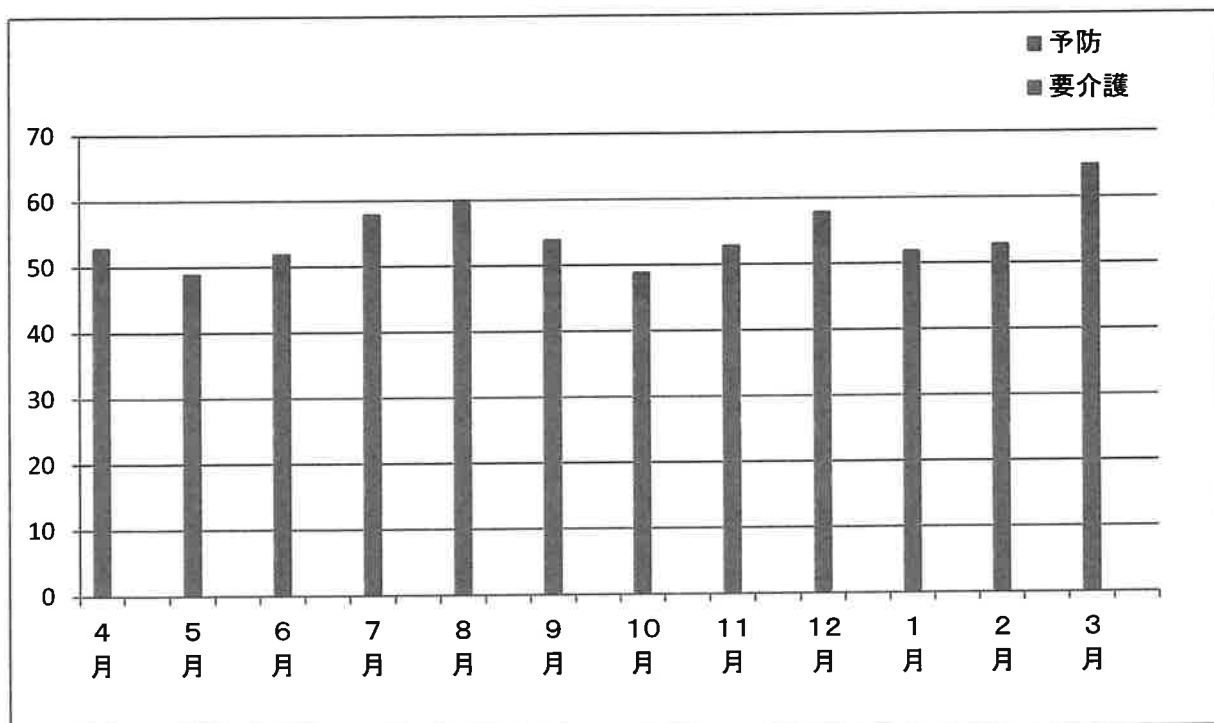
1. 令和4年度まとめ

今年度は、若狭町の総合事業の委託は月平均5名であった。

要介護者は月平均49名の実績があった。若狭町近隣では入所施設や入院病床が高齢者に対して多いため在宅で生活している高齢者が少なくなっている。また国が介護予防に力を入れており介護を必要とする高齢者が少なくなっている傾向にある。

今後も地域包括支援センターや各関係機関との連携を密にしながら、在宅で生活している高齢者、またはその家族を少しでも多く支援していきたい。

2. 令和4年度月別ケアプラン作成件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防ケアマネジメント	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
予防給付ケアプラン作成	3	3	3	4	4	4	3	5	4	4	4	7	48
小計	5	5	4	5	5	5	4	6	5	5	5	8	62
要介護	48	44	48	53	55	49	45	47	53	47	48	57	594
合計	53	49	52	58	60	54	49	53	58	52	53	65	656

Ⅶ. 事故およびヒヤリ・ハット発生状況

○特養

1. 事故… 11件

※骨折…2件(5,6月) 剥離…1件(4月) 誤薬…2件(9,12月)
 転落…1件(6月)、転倒…1件(6月)、その他…3件(10月3件)

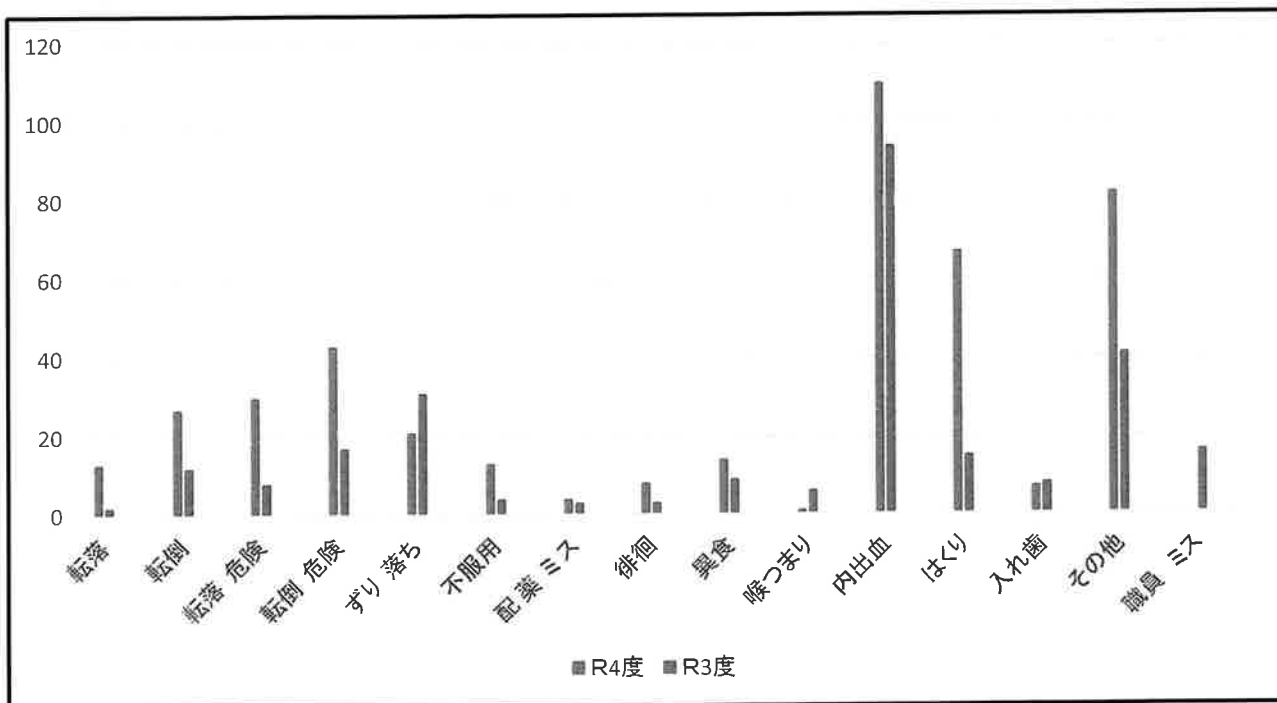
令和4年度

内容

剥離	【概要】	左手甲部より出血あり。5cm×3cm程度の剥離があった。
	【原因】	ベッドをギャジアップしたところ、拘縮がある方で顎が左手甲に当たり剥離した。また、ギャジアップした状態で2時間以上経過していた。
	【対策】	手首を覆うアームフォーマーを使用する。また職員間の引継ぎの徹底と、ギャジアップ時には1時間毎に見回りする。
骨折	【概要】	昼食後、ホールの簡易ベッド(畳)上で休んで頂いたところ、職員が転落しそうな状況を確認し駆け付けたが間に合わず、左側側臥位のまま転落した。左頬と左大腿部の痛みの訴えあり受診。左膝骨折の診断を受ける。
	【原因】	職員間で利用者の状態についての情報共有が出来ていなかった。また職員の見守り体制が手薄であった。簡易ベッドを使用していたのは、ご利用者は部屋だと不安になり職員を呼ぶ声が続いた為使用していた。
	【対策】	職員間の情報共有の徹底と、簡易ベットは使用中止する。見守り体制については、死角が多い場所については職員が固まらない様にして対応していく。
転落	【概要】	居室でベッド横に左側臥位の状態で倒れていた。車いすは1m程度離れた場所に止まっており、車いすのブレーキは掛かっていなかった。
	【原因】	ベッドから車いすへの移動は一部介助が必要であるが、認知症があり一人で移動してしまった。また他の利用者介助の為ホールに見守りする職員が不在だった。
	【対策】	ご利用者の状態について再度話し合いし、生活スタイルに応じた早めの対応を心掛ける。またコールマットの対応を統一し、リビングでの見守り体制を強化する。オートブレーキ式車いすを使用する。
骨折	【概要】	居室入口で、車いすから転落しているところを発見する。頭部と左膝の痛み有、受診。左腓骨遠位部骨折の診断を受ける。
	【原因】	発熱があったことから感染症対策のため、居室で食事をとっており見守りがし難い状況であり、職員の見守り体制が整っていなかった。またオーバーテーブルを使用していたがブレーキが掛からなかった。
	【対策】	個室対応を終了し見守りを強化する。職員の食事介助時の対応を統一する。
転倒	【概要】	夜間一人でベッドからポータブルトイレへ移動しようとしたところ、ポータブルトイレの右側に転倒した。声掛けするも反応なく、うつろな状態であった。救急搬送後、急性硬膜下血腫、脳挫傷の診断を受ける。
	【原因】	下肢筋力低下し転倒のリスクが高い方で、夜間帯でもあり覚醒していない状態で移動してしまった。またポータブルトイレはプラスチック製で軽く、移乗時に片方の手摺だけ持つと転倒のリスクも高かった。また就寝時本人希望で靴下も履いており滑ったとも考えられる。
	【対策】	靴下を脱がすよう統一し、ポータブルトイレは重量がある木製に変更する。また足元の補助灯も使用し転倒防止に努める。

誤薬	<p>【概要】 別の利用者の薬を服用させてしまった。経過確認し特に問題は見られなかった。</p> <p>【原因】 内服の氏名を確認できていなかった。また飲む直前にも再度確認が出来ていなかった。</p> <p>【対策】 服薬介助時に、利用者名と薬に書かれている氏名を再度確認する。</p>
不詳	<p>【概要】 夕食後ベッドへ臥床し、少し痰絡み有るためキャジアップして様子見ていた。1時間後訪室すると口から泡を出して、顔面蒼白、意識レベル低下していた。直ぐに、AED、心臓マッサージ、救急搬送行う。救急搬送中に、気管内挿管、アドレナリン投与。搬送先で死亡が確認された。(検死)</p> <p>【原因】 搬送先の医療機関でも、死因は特定されなかった。基礎疾患にパーキンソン病があり長年治療が継続されてこられたことから、パーキンソン病に伴う筋力低下が徐々に心臓に負担を掛けたと考えたと警察から説明を受ける。</p> <p>【対策】 急激な意識レベル低下であり、苑でも応急処置を行ったが対応が出来なかった。引き続き、苑でも応急処置について訓練を実施していく。病識についても職員間で引き続き情報共有していく。</p>
老衰	<p>【概要】 早朝、居室にて悪寒、顔面蒼白、意識レベル低下見られたため、AED、心臓マッサージを実施。救急搬送したが搬送先で死亡が確認された。(検死)</p> <p>【原因】 搬送先の医療機関より、死因は老衰と診断を受ける。2日前に腹部の痛み有り医療機関受診。腹部エコー、CT検査受けるも異常見られず。腹部動脈瘤、腸骨動脈瘤見られたため後日心臓血管外来受診予定であったが、動脈瘤の破裂も見られなかった。</p> <p>【対策】 急激な意識レベル低下であり、苑でも応急処置を行ったが対応が出来なかった。引き続き、苑でも応急処置について訓練を実施していく。</p>
老衰	<p>【概要】 低体温(34.9℃)で表情乏しく反応なし。30秒程度無呼吸も続いたため、救急搬送。入院前検査で新型コロナウイルス陽性。状態悪化し次の日亡くなる。</p> <p>【原因】 同室者に陽性者があり、その後4回程度抗原検査を実施してきたが陰性であり経過を見ていた。低体温の状態見られたが湯たんぽなどし保温していたら36℃代で推移していたが、急に低体温と反応見られなくなった。</p> <p>【対策】 死因は老衰と、低体温状態と新型コロナウイルス感染によるものと考えられる。引き続き感染症対策には留意し、状態悪化時には早めの受診につなげる。</p>
誤薬	<p>【概要】 夕食後に服用する薬を20時以後に服用するよう指示があった薬を、夕食後に服用してしまった。</p> <p>【原因】 申し送りの指示の伝達不足。また指示があったのに同じように夕薬に置く場所に薬を設定してしまった。</p> <p>【対策】 指示があった場合には、指定された時間に内服を入れておく。また袋自体に、変更する時間を記載する。</p>

2. ヒヤリ・ハット・・・ 440件



	転落	転倒	転落危険	転倒危険	ずり落ち	不服用	配薬ミス	徘徊	異食	喉つまり	内出血	はくり	入れ歯	その他	職員ミス	合計
R4度	13	27	30	43	21	13	4	8	14	1	110	67	7	82	16	440
R3度	2	12	8	17	31	4	3	3	9	6	94	15	8	41	16	269

内容

転倒(危険)・ 転落(危険)	<p>歩行不可能で寝たきりの利用者が多くなった一方で、精神疾患による精神・行動障害を伴う利用者が増加した。自力で立てない状態でも急に思い立ったように立ち上がろうと必死に動き転倒したり、夜間帯でも急に行動してベッドから降りようとしたり実際に転落するケースも目立った。</p> <p>精神疾患のある利用者は転倒や転落のリスクだけでなく他利用者への介護を著しく阻害するような言動(暴言や暴力など、目が離せないような行動をとるために職員が常に1対1で付き添う必要があり、他の利用者への目が行き届かなくなる)があり、安定剤などの内服治療で調整しながら対応している。</p>
異食	<p>異食に関しては前年度に比べて増加した。内容としては、隣の利用者の食事や、余暇活動に使用するパズルのピースやクレヨン、本人の手の届く場所においてあったティッシュ、オムツをちぎって中から出たポリマーなどである。また、コロナ対策用にテーブルの真ん中に立ててあるアクリル版を固定するテープの剥がれかけを剥がして異食するケースもあった。</p> <p>対策として、アクリル板固定用テープは定期的に剥がれがないか確認し、口に入れられるようなものはできるだけ異食した本人から離しておいた。また、余暇活動時はできるだけ付き添うなどして対応した。</p>
はくり	<p>令和3年度の内出血の件数を比較すると94件→110件に対し、はくりは15件→67件と大幅に増加した。理由として、寝たきりのため二人の職員で平行移乗する利用者の増加が考えられる。特に車いすのアームレスト等に当たっている可能性が高い、もしくは実際に当たっているケースが多い。</p> <p>対策として、二人介助での移乗用のスライドボードを使用して利用者の移乗時にできるだけぶつかる箇所がないように、また利用者の皮膚に摩擦が起こらないような方法で対応した。</p>

3. 発生月別表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転落	4	3	0	1	0	1	0	1	0	1	1	1	13
転倒	3	2	3	3	2	1	5	1	2	1	3	1	27
転落危険	1	5	5	2	4	1	7	1	0	1	0	3	30
転倒危険	5	6	4	1	6	3	1	2	3	4	4	4	43
ずり落ち	1	2	3	1	4	0	0	3	1	3	2	1	21
不服用	0	0	3	2	2	0	1	1	1	3	0	0	13
配薬ミス	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	4
徘徊	1	2	2	0	1	0	0	1	0	1	0	0	8
異食	0	1	3	1	2	0	2	0	1	2	1	1	14
喉つまり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
内出血	8	10	12	14	17	9	3	11	1	9	9	7	110
はくり	4	8	8	2	7	8	7	6	4	4	6	3	67
入れ歯	1	2	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	7
その他	7	10	21	8	7	4	3	9	2	2	4	5	82
合計	35	51	65	35	53	28	30	38	16	31	30	28	440

○短期入所・デイサービス

事故・ヒヤリハット発生月別表(項目別) ※表()内はデイサービス

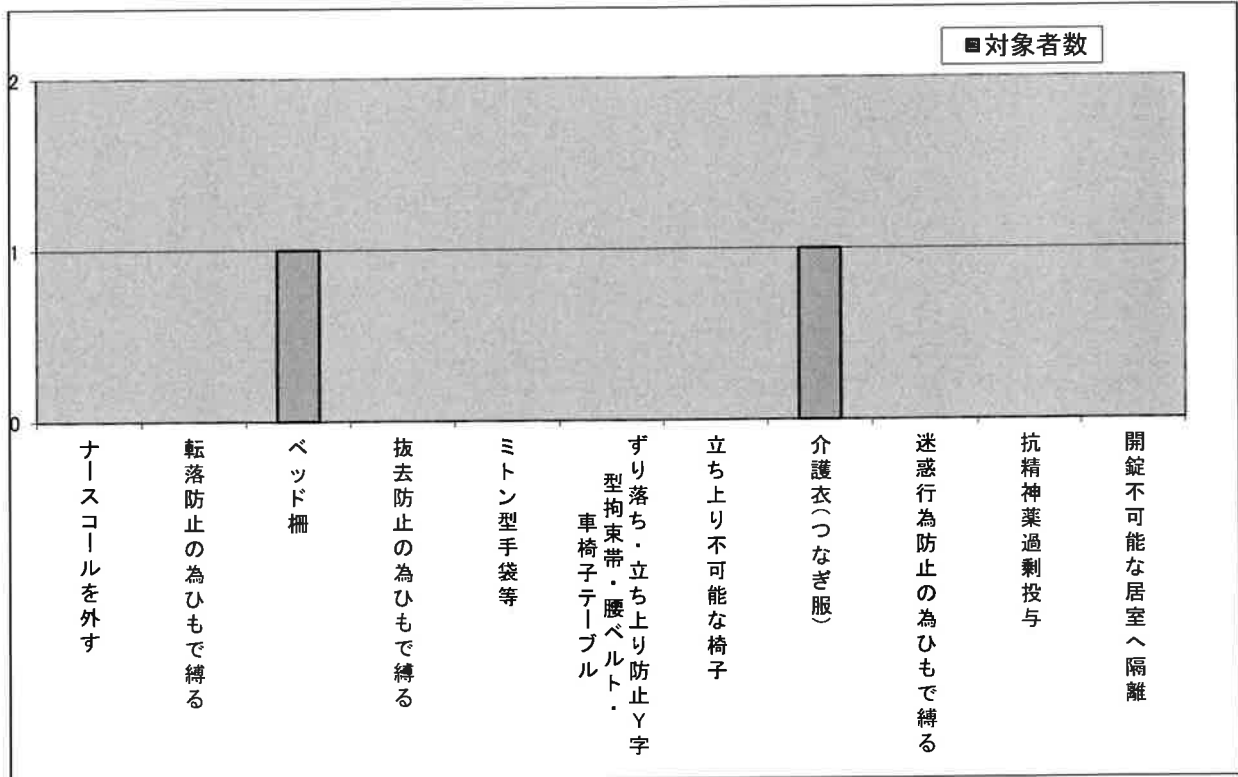
1. 事故・・・0件(短期:0件、デイサービス:0件)

2. ヒヤリハット・・・全体95件(短期87件 デイ8件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
転落	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2	(0)
転倒	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3	(2)
転落危険	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	7	(0)
転倒危険	6 (0)	0 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	14	(0)
ずり落ち	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2	(3)
不服用	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3	(0)
配薬ミス	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2	(1)
徘徊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	(0)
異食	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	(0)
喉つまり	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2	(0)
内出血	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)	4 (0)	3 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	21	(0)
はくり	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	4	(0)
入れ歯	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3	(0)
その他	1 (1)	1 (0)	6 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	5 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	24	(2)
合計	14 (1)	4 (2)	13 (0)	8 (0)	8 (0)	5 (0)	8 (2)	16 (2)	4 (1)	0 (0)	7 (0)	8 (0)	87	(8)

VIII. 身体拘束の状況

(令和4年度)



内 容	原 因	人数	備 考
ベッド柵	新型コロナウイルス感染が同室者に発生したことから隔離対応が必要となったが、認知症ありベッドから降りることから隔離が出来なかった。ベッド柵を4本にして隔離対応を行った。	1	拘束期間中は、居室に随時訪問し状態観察を行った。期間は、12/26～12/29まで。その後はベッドから降りるなどの行動見られなかった。
介護衣(つなぎ服)	ぬいぐるみをかじったり、口の中に異物(紙パンツのポリマー等)を食べるなど異食行為防が目立つようになり、ツナギ服を着用し異食を防止した。	1	夜間帯や見守りが困難な時間帯を中心に使用した。常に状態把握し特に夜間帯など居室訪室時には異食等が無い確認した。またオムツ交換時に、ツナギ服に伴う皮膚トラブル等が無いかも確認した。期間は3/11～4/1まで。その後は異食行為は見られなかった。

IX. 苦情受付状況

苦情受付 1件

Ⅸ. 苦情受付状況

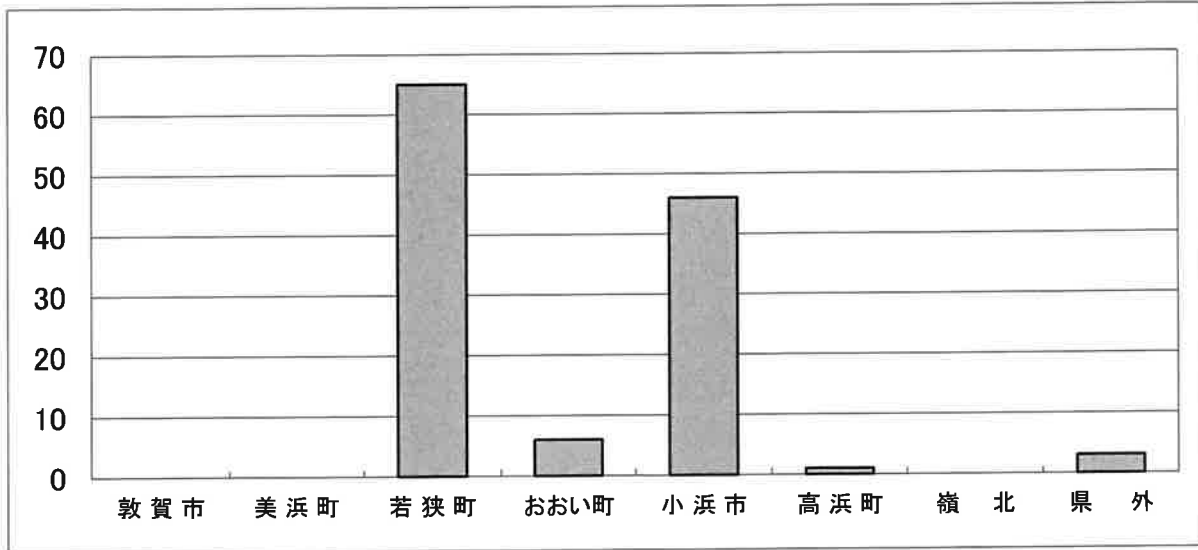
苦情受付 1件

令和4年度

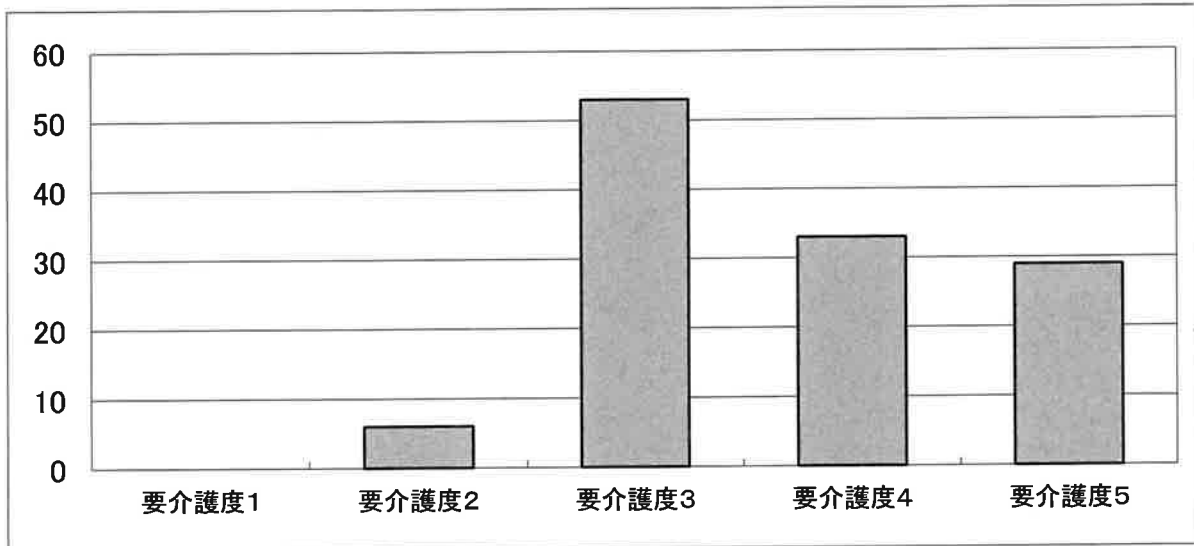
苦情内容	対応
<p>ご家族は、発熱で受診したと思っていたら、食事 も食べられておらず体重も減少していたことをご 存じでなかった。 また受診時に、主治医から胃ろうの話が出て、 苑の対応に不信を持たれ、今までどのような対応 をしてきたのかと苦情の訴えがあった。 その後、囑託医の変更も希望された。</p>	<p>窓口(介護職から相談員)を変更し、状況を随 時報告する。(体重、食事量減少時等) 退院後は、体重測定の頻度を増やし状況確認 を行う。(当面週1回) 体重減少時や食事量低下時には、関係者で 協議し食事形態や捕食を踏まえ対応を検討す る。 引き続きご家族との信頼関係が築けるよう随 時お伝えしていく。</p>

◎ 入苑待機状況
・市町村別

(令和5年3月31日現在)



・要介護度別



	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
敦賀市	0	0	0	0	0	0
美浜町	0	0	0	0	0	0
若狭町	0	3	30	14	18	65
おおい町	0	1	2	2	1	6
小浜市	0	1	20	16	9	46
高浜町	0	0	1	0	0	1
嶺北	0	0	0	0	0	0
県外	0	1	0	1	1	3
合計	0	6	53	33	29	121